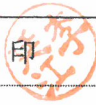


## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	李 廷 江 		
NAME			

## 1. 研究課題

（和文）1980年代の日中関係—中国改革開放との関係を中心に

（英文）Sino-Japanese Relations and Chinese Political and Economic Reforms in 1980s

## 2. 研究期間

年間（2017・2018年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）日本と中国との関係については、時期的に大きく戦前(1945年まで)と戦後(1945以降)、また、国交回復前(1972年以前)と国交回復後(1972年以降)に分けてきた。その中で、戦争と平和のどの視点から両国関係を見るかによって見方が完全に変わる。例えば、中国の社会変革の視点から日本との関係を見れば、従来見えないことが見えることとなる。本研究は、1980年代から始まった中国の改革開放と日本との関係に焦点を当てて、従来知られていなかった事実を解明したうえ、1980年代の日中関係にあらしい解釈を与えようとするものであった。

筆者は、1979年前後の改革開放初期、中華人民共和国史上初めて招聘された大来佐武郎・向坂正男と小林実等の日本人が中国政府の『顧問』の役割を果たしていた事実を確認し、同時期の中国政府の改革開放の政策決定過程における彼らの役割とその意味を明らかにした。そして改革開放初期の中国で日本人顧問が孫治い氏、政策形成過程において一定の役割をはたすことができたことは、戦後数十年にわたる日中民間交流の成果であり、更に両国が歴史和解のコンセンサスを実現し、実践すべく努力してきた賜物だったと評価することができた。本研究は同時期におけるこれらの日本人顧問と両国のトップ交流との関連性を再検証して1979年から1989年までの両国関係を多面的に見ることができた。本研究の成果は、「中国近代化を支えた日本人」の題としてNHK特別番組として放送された。今後単項書を刊行する予定。

（英文）The phase of the Sino-Japanese relations is broadly divided by the prewar period until 1945, the postwar period since 1945, the periods before the normalization of Sino-Japanese relations before 1972, and the period after the normalization of Sino-Japanese relations since 1972. The perspectives on the Sino-Japanese relations are dynamics. How we think war and peace influence our approach on the Sino-Japanese studies. We can have a fresh approach on the two countries' relations when we focus on China's economic and social reforms. My research aims to develop new perspectives for the Sino-Japanese relations of 1980s with the facts that have not interpreted.

1979 was the beginning of the economic and social reforms in China. Some Japanese were the first advisory and visited to the Chinese Communist Party (CCP). These were mainly Saburo